

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
1-1		大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質)の公表 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	環境基準達成度 100% 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	◎	環境レポートで公表予定。	生活環境課
1-1		一般地域における騒音調査及び測定(一般地域騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する。	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般地域騒音環境基準について、市内11地点の騒音を調査測定し、状況を公表する。環境基準達成率90%以上。	◎	10月実施予定。	生活環境課
1-1		道路交通騒音調査及び測定(道路騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	測定を100%実施する。	◎	10月実施予定。	生活環境課
1-1		新幹線鉄道騒音調査及び測定(新幹線鉄道騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定箇所2地点(下堀地区)	100%実施する。	◎	10月以降実施予定。	生活環境課
1-1		地域鉄道の利用促進	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。	上田電鉄別所線としなの鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標1,200,000人	◎	別所線については、別所線電車存続期成同盟会を中心とした利用促進イベント等を開催し、利用促進に努めた。 しなの鉄道については、沿線市町で構成するしなの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。	交通政策課
1-1		循環バス運行施策	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標55,000人	◎	コミュニティバスをはじめとした市内のバス交通が多目的に利用されるよう利用促進に努めた。 引き続き、課題等の把握に努めるとともに、利用啓発活動を進めていく。	交通政策課
1-1		まちなかレンタサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を貸し出し、自転車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。 貸し出し可能自転車:常時15台	利用者数:4,000人	○	9月末現在の利用者数(延べ)2,454人 対前年度比 : 2,454人/2,912人 = 0.843 対前年度までの平均比 : 2,454人/2,288人 = 1.072	都市計画課
1-1		レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減を目指す。	ゆきむら夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用実績 平成27年度 延べ650台	◎	H26年度同期の実績が438台に対し、H27年度上半期の実績が617台であり、大幅に増加している。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽設置整備事業実施基数)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設6基	◎	補助基数5基	生活環境課
1-2		河川水質調査及び検査(主要河川BOD環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。また、結果を環境レポート等で公表する。	主要河川のBOD環境基準達成度100%(年間平均)	◎	上半期100%達成。	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査(地下水環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	◎	11月実施予定。	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査(地下水質低沸点有機塩素系化学物質の基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内12地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)の環境基準値の達成。	◎	11月実施予定。	生活環境課
1-2		水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	・水道週間イベント開催補助 ・うえた環境フェア出展	上下水道事業を紹介し水環境保全のための啓発活動を行う。	◎	・水道週間に合わせて染屋浄水場の一般開放と音平ダム及び石舟浄水場の施設見学を行い、水環境の大切さを説明した。 ・10月24日に開催される「うえた環境フェアへ出展し、環境負荷低減の取組等を紹介するための準備を行った。	経営管理課
1-2		公共下水道事業・農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業・農業集落排水事業を推進する	・公共下水道計画区域内の未整備箇所の解消	・下水道未整備箇所の解消 7箇所解消	◎	2箇所は解消済、1箇所は発注済、2箇所は設計中。	下水道課

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	1-2	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	◎	9月までに3基の申請があった。	丸子市民サービス課
	1-2	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.0%	◎	10月の環境フェアにて普及活動予定 9月末56件接続	丸子・武石上下水道課

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	1-3	ダイオキシン類の環境汚染調査(ダイオキシン類環境基準達成率)	有害化学物質による汚染を未然に防止する	有害化学物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気5カ所、河川2カ所、土壌3カ所等について調査。	環境基準値達成。	◎	11月実施予定。	生活環境課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	2-1	造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	◎森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	◎私有林(切捨)間伐180haの実施	◎	武石地域において間伐=18.7ha実施	森林整備課
	2-1	樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	◎アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を図る。	◎被害木7haの樹種転換の実施	◎	事業主体である森林組合が実施に向けた現場調整を行った。	森林整備課
	2-1	松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	◎松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の被害木の全量伐倒駆除の実施	◎被害木6,000㎡の伐倒薬剤処理	◎	・伐倒燻蒸(奉駆除) V=2,823㎡ ・地上薬剤散布 L=9.5km A=22.3ha	森林整備課
	2-1	公園施設の整備	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	・上田城跡北・南・天神二丁目駐車場整備工事 N=3箇所 ・市立博物館トイレ整備工事 A=105㎡ ・上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=300m	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.29㎡/人とする。	○	上田城跡北・南・天神二丁目駐車場:発注手続中 市立博物館トイレ整備工事:施行中 上田城跡公園バリアフリー化工事:発注手続中	公園緑地課
	2-1	天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ・ミヤマモンキチョウ・ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲ等 ・食草であるクロマメノキの保護	◎	市指定文化財のマガランヤンマとその生息地の保護パトロールは、地元のボランティアで予定通り実施した。	文化振興課
	2-1	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保護・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	◎	全市民のアレチウリ一斉駆除日を6/28[日]に設定し、真田地域の自治会では2自治会が実施し、都合で外の日に10自治会が駆除に取組み、716人の参加で約518kgを駆除した。 私有地への駆除指導は、広報等により実施した。	真田市民サービス課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	2-2	農業用水路の多自然型水路整備箇所	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る	◎		土地改良課
	2-2	多自然河川整備状況	自然・生き物・人が共生するまち	ホタル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホタル水路に係る啓発活動	◎	H27.7.3~H27.7.31の29日間、市役所1階ロビーにてポスター展示。	土地改良課
	2-2	河川愛護活動(河川愛護団体数)	水辺環境を守り、親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川愛護活動を実施した団体数 52団体	◎	10/31が提出期限なので、不確定。	生活環境課

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	2-2	水生生物調査及び支援	水辺環境を守り、親しむ	持続可能な水環境の保全	水生生物調査及び支援	13ヵ所で開催。	◎	13ヵ所で開催済み。	生活環境課
	2-2	① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用水路において環境に配慮した工法を推進します。	①多自然型水路を1箇所整備する。	①実績数値による。	◎	・多自然型水路整備に向け、地元自治会と計画協議中	丸子建設課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	2-3	認定農業者(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 27年度目標 合計245経営体	◎	5月、8月に審査会を開催し、更新18経営体、新規3経営体の合計21経営体を認定した。	農政課
	2-3	荒廃農地の再活用	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 27年度目標 8,0ha	○	現在は5地区(4事業主)から、1.8haの補助申請がある状況なので、H26と同内容でよろしいと思います。	農政課
	2-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 27年度目標 80ha	◎	円滑化事業による権利の設定は、概ね順調である。また、農地中間管理事業については、事業周知を行い、12月の権利設定に向けて取り組みを行った。	農政課
	2-3	農業法人(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討 2件	○	東塩田営農組合、中塩田営農組合において研究中	農政課
	2-3	遊休荒廃農地の解消(活用)による農地の有効利用	農環境を守り・親しむ	農地と農環境の保全(数値目標平成27年度遊休荒廃農地解消面積10ha)	・遊休荒廃農地の解消(活用) ・利用状況調査の実施 ・新規発生分の意向調査実施	・補助事業等を活用した遊休荒廃農地の解消 ⇒27年度解消目標面積10ha	◎	・ほぼ予定通りに進んでいる。	農業委員会事務局
	2-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成27年度8ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 26年度末12.4ha →27年度目標8ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	3-1	生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	循環型社会の形成に努める	1 生ごみ堆肥化モデル事業 やさいまる事業…ポイント交換数延べ1,000回 2 生ごみ減量化機器購入費補助事業 3 乾燥生ごみと野菜等との交換事業 「やさいまる」事業	1 乾燥生ごみによる堆肥化の実証実験の実施 やさいまる事業…ポイント交換数延べ1,000回 2 生ごみ減量化機器利用者の増加 補助台数390台 3 1人当たりのごみ排出量の減少	◎	1 生ごみ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園から生ごみを回収し、試験施設で堆肥化 2 生ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うた等で補助制度を周知 3 1人当たりの1日のごみの排出量(可燃) ・減少傾向で推移している	廃棄物対策課
	3-1	ごみの減量化及び再資源化の推進	循環型社会の形成に努める	廃棄物の減量・リサイクルの推進	1 職員のごみ減量化の取組強化 2 キャッチフレーズを活用した、市民へのごみ減量化・再資源化の啓発	1 広報や自治会説明会を通じた周知 2 市民モニターを募集し、減量効果のデータ収集	◎	キャッチフレーズを活用したごみ減量化・再資源化啓発ポスターを作成し、8月より各所に掲示及び自治会配布。	資源循環型施設建設関連事業課
	3-1	給食の調理及び配送	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食作りと配送業務(食品残渣の減少)	① おいしい給食づくり ② 残菜量の削減 ③ 地産農産物の使用	① 安心・安全でおいしい給食づくり ② 電気・ガス・水道の使用量の削減 ③ 残菜量の削減	○	・地産産物の野菜が、センターの使用量まで入荷できない。 ・残菜は少なくなっている。	第一学校給食センター
	3-1	給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	◎	センターへの施設見学は5校(299名)、PTAの試食会は8校(219名)実施。 学校訪問は1・2年生を対象に5月～6月、センター職員(延べ38人)ですべての学校に訪問した。 毎月1回指導委員会を開催。 残菜量・地元産野菜の使用量は順調に進んでいる。 BDF燃料は、業者の都合で事業が中止になった。	第二学校給食センター
	3-1	各種大会時のごみ減量の啓発	ごみ減量の促進	ごみ減量の啓発	各種大会等	各種大会時ごみ減量の啓発	◎	スポーツイベントにおいてごみ減量の啓発を行った	スポーツ推進課

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	3-1	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月 開催予定	来場者予定数 700人 アンケートによる来場者満足度 80%以上	◎	開催日を11/28(土)に変更した。 7/30 打合せ会議、9/14 実行委員会を開催した。部会構成も決定し、開催日に向け、現在準備中である。	丸子市民サービス課
	3-1	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 30件 (前年度比50%増)	◎	上半期の実績 補助金交付件数 60件 *前年度比 285%	丸子市民サービス課
	3-1	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	自治会から要望があった時点で対応	丸子市民サービス課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち																																							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する																																							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課																																
	3-2	上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうえだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	市の事務事業の遂行に伴い排出される温室効果ガスの総排出量を、第三次の目標年度である平成29年度までに平成23年度を基準として、1.0%削減。	◎	平成23年度比1.0%削減の目標は前倒しで達成している。 しかし昨年度からの排出量は増加しているため、更に省エネの取組を進める必要がある。	生活環境課																																
	3-2	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	全庁的な取組体制により、公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討を進める。	◎	上半期、売電開始3施設(屋根貸し)	生活環境課																																
	3-2	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1) 太陽光発電システム設置費補助 348件 (2) 太陽熱高度利用システム設置費補助 18件	◎	太陽光発電：184件 太陽熱利用：7件	生活環境課																																
	3-2	環境家計簿の配布	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進する	・広報等へ募集掲載 ・環境家計簿の配布・回収・評価	うえだエコ隊参加(環境家計簿回収)家庭数5世帯	◎	広報で周知を行った。 7月から9月が取組期間であるため、まだ提出されていない。	生活環境課																																
	3-2	国際規格審査登録助成事業	環境にやさしい人をはぐくむ	ISO14000等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(10件)	◎	①事業所訪問による周知(3件)	商工課																																
	3-2	クールビズの実施による省エネルギー行動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまち	地球温暖化防止活動を推進する	クールビズ(ノーネクタイ、軽装勤務の励行)による、適正な空調利用の促進	実施により職員及び来庁する市民の環境に対する意識の向上を図る。	◎	5月20日から9月30日まで実施	総務課																																
	3-2	庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気使用量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	◎	<table border="1"> <caption>上半期の使用量の比較</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>増減(27-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>33,828</td> <td>33,051</td> <td>-777</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>6,017</td> <td>6,919</td> <td>902</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>12,000</td> <td>10,000</td> <td>-2,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>10,100</td> <td>8,114</td> <td>-1,986</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>678,210</td> <td>599,408</td> <td>-78,802</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>38,974</td> <td>42,837</td> <td>3,863</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	増減(27-26)	ガソリン	33,828	33,051	-777	軽油	6,017	6,919	902	灯油	0	0	0	A重油	12,000	10,000	-2,000	都市ガス	10,100	8,114	-1,986	電気	678,210	599,408	-78,802	コピー	38,974	42,837	3,863	契約管理課
	26年度	27年度	増減(27-26)																																						
ガソリン	33,828	33,051	-777																																						
軽油	6,017	6,919	902																																						
灯油	0	0	0																																						
A重油	12,000	10,000	-2,000																																						
都市ガス	10,100	8,114	-1,986																																						
電気	678,210	599,408	-78,802																																						
コピー	38,974	42,837	3,863																																						
	3-2	うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	地球温暖化防止活動を推進する	市民の環境配慮行動の推進	うえだ環境フェアの開催 10月24日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	開催に向けての準備を進めている。	生活環境課																																
	3-2	LED防犯灯設置基數補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	LED防犯灯の新設補助及び防犯灯のLED交換の補助	新設 147基 交換 2,083基	◎	新設 122基 交換 2,236灯	生活環境課																																
	3-2	太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を図る	保育施設の改築建替に伴う太陽光発電設備設置を検討する	神川統合園の園舎設計において、太陽光発電設備の設置を検討する。	◎	・7月に神科第一保育園の屋根貸しによる太陽光発電「神科おひさま発電所」が始まり、園舎内に園児にも発電状況がわかるモニターを設置してもらい環境教育を行っている。	保育課																																
	3-2	税務業務の効率的運営	e-L-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	e-L-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うえだ、市のホームページ・行政チャネル等を活用したe-TAXの利用推進。	申告におけるe-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 58% 給与支払報告書 33% 償却資産 16%	◎	・法人市民税の決算申告や中間申告の際に事業所にe-L-TAXを利用するよう周知している。 4月～8月のe-L-TAXサービスの利用件数 法人市民税：1,618件 給与支払報告書：104件 償却資産：10件 国税連携：5,958件	税務課																																
	3-2	市営住宅の管理	環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.10%以上	○	6月に全入居者に送付した通知に「節電、節水を呼びかける言葉」を入れ、環境啓発に努めた。 口座振替率については、入居説明会の灰に奨励を行った結果、新規入居者は100%となった。全体では、9月末現在87.1%である。	住宅課																																

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	3-2	各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務事務監査(6月～1月) ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査(6月～8月) ・行政監査(4月～10月) ・財政援助団体等監査(10月～1月)		◎	監査方針及び実施計画等に基づき、概ね順調に各種監査等を実施している。 ・例月現金出納検査(毎月) ・決算審査、健全化判断比率等審査(8/26 理事者、議会報告) ・行政監査(11/16 理事者、議会報告予定) ・定期財務事務監査、財政援助団体等監査(着手中)	監査委員事務局
	3-2	防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(537基/2,469基)	○	LEDへの交換 基数 484基	丸子市民サービス課
	3-2	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 60件(前年度並)	○	上半期申請件数 22件 太陽光発電設備は、売電価格の下落等により市民ニーズは減少傾向。	丸子市民サービス課
	3-2	市民サービス課所有車の燃料使用の抑制	市民サービス課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民サービス課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減	・ガソリン(10台分) 使用量…昨年度から1%削減 年度末 2,790ℓ ・軽油車(2台分) 使用量…昨年度から1%削減 年度末 2,210ℓ	△	ガソリン・・・1,730.5リットル(目標値に対して62%) 軽油・・・1,266.8リットル(目標値に対して57%)	丸子市民サービス課
	3-2	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する。	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。	1社以上の取得を目指す。	◎		丸子産業観光課
	3-2	移動図書館車の運行	地域資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行(丸子・武石地域、年間約150日運行)	貸出冊数 21,000 冊	◎	4月～9月まで 移動図書館の運行(丸子・武石地域 77日) 貸出冊数 11,455冊	丸子図書館
	3-2	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	左記事業における呼びかけチラシによる啓発	駐車台数の削減	◎	開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載	丸子地域教育事務所

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	3-3	1 雨水貯留槽補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める	雨水貯留施設設置費補助	32件	◎	8件	生活環境課
	3-3	施設建設事業	資源を生かした公共工事を推進する。	建築工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	①計画・設計における環境配慮 ②工事施工における環境配慮	別紙様式G1のとおり	◎	上半期において工事41件及び実施設計1件を発注し、環境へ配慮した設計及び施工に努めました。	建築課
	3-3	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 8件	△	上半期の申請件数0件	丸子市民サービス課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	4-1	文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	○	・7月7日に文化財保護審議会を開催し、市指定文化財1件の答申があった。 ・指定候補物件である飯沼の郷倉の調査、指定文化財のカネタの煙突、安良居神社の調査を実施した。	文化振興課
	4-1	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポストカード・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	9月までの来館者は、58,595人である。	上田市立博物館
	4-1	信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	◎	・落ち葉の腐葉土化を行っている。 ・入館者は、4月～9月までに3,229人。	信濃国分寺資料館

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
4-2		景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図る	・広報うえだ、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長150m)	◎	上半期の補助件数は8件で、目標件数の53.3%に達している。	都市計画課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数800人以上 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者801人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	○	②花づくり講習会:5月実施済み ③花づくり講習会:8月実施済み	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 141,000本 ①②	・地域自治会等に配布する花苗本数(141,000本)	◎	①花苗配布(夏苗):6月実施済み	公園緑地課
4-2		街路樹植樹事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹の植樹延長を増やし、まちに潤いとやすらぎをもたらす	街路樹の植樹予定なし	街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討		来年度(平成28年度)実施計画において、新規路線の立上げを目論見ましたが、一部の路線は事務査定において「項目計上」となり、今年度の目標達成は厳しい状況となりました。	都市計画課
4-2		緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年5回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全をすることがあることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	①～⑤里山整備ボランティア:実施済み	公園緑地課
4-2		公園施設長寿命化対策支援事業	ライフサイクルコストの削減	都市公園のストックマネジメント	公園施設改築・更新 N=1公園	対象公園数 39公園	○	内示額が要望額より少なかったため、改築・更新工事の実施箇所を選定に不測の日数を要した。	公園緑地課
4-2		花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討①②⑤⑧ 2 住民参加による緑化③④⑥⑦⑨⑫ 3 住民環境啓発⑩⑪⑫	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ④コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑩講習会への参加	◎	4月 ①②参加団体へ配布する花の調整、受付 丸子地域花いっぱい運動参加団体:70団体、会員:2,946名 6月 ③参加団体へ花苗の配布:9種類17色、植栽 7月 ④花と緑のまちづくりデザイン事業実績報告書の提出 ⑥「上田市 花と緑のまちづくりコンクール」の参加呼びかけ 丸子地域花いっぱい運動参加団体からの応募:12団体 団体部門(50㎡未満) 6団体、(50㎡以上) 4団体 個人部門 0名、学校部門 2団体 ⑦秋苗の用球根配布→10月に変更	丸子建設課
4-2		住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理①～⑥	①～⑥ボランティア参加者 150人	◎	4月 ①丸子ベルパーク花壇の花苗配置と本数確認 植栽計画作成 5月 ②丸子ベルパーク花壇の場上作業のボランティア(参加者12名) 6月 ③丸子ベルパーク植栽 710本(参加者15名)サルビア(167本)、メランポジウム(79本)、日紅草(221本)、マリーゴールド(100本)、千日紅(143本) 7月 「まごころと緑の会」視察研修(参加者13名) 上田市内の花壇巡り(丸子地区 2箇所) (上田地区 3箇所) (真田地区2箇所):H26賞をいただいた箇所を視察 6月～9月 ③丸子ベルパーク花壇の管理(水くれ・草取り)	丸子建設課
4-2		武石地域公園化構想による地域づくり	すぐれた景観の保全	桜並木の維持管理を推し進め、緑の空間の保全	緑の景観づくりを目指す。	生育経過観察(除草・獣害被害経過観察)	◎	当初作業計画どおり H27.8.31までに完了。	武石産業建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図る	自主的なルールづくりに向けた機運の高まってきた地区に対して、協定締結に向け、指導・助言をする。	認定数(1)	△	あるひとつの自治会において、自治会長は動きを見せてはいるが具体的に協定締結を目指しているものではなく、また自治会全体としての盛り上がりがないこと、前向きな交渉には至っていないことから、指導助言がでない状況にある。	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチングの実施(2回)	◎	今年度の1回目を、5月16日に予定どおり実施し、15名の参加者があった。	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体の数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	△	新たに、景観づくり市民団体の認定及びアダプトシステム協定締結を行った団体はなかった。	都市計画課
4-3		ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動の推進	ごみゼロ運動の実施(県下一斉で年一回)	参加人数 10,000人	◎	10,093人(9/15現在)	生活環境課
4-3		放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年180台以下		27年9月末 放置自転車撤去件数 16件	管理課

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	4-3	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	◎	9月までに苦情件数1件(近所の犬の鳴き声がうるさい)あった。	九州市民サービス課
	4-3	上田市ボイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ボイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 6,530kg (前年度比10%削減)	◎	パトロール回数 72回(目標72回) 不法投棄ごみの量 3,110kg (上半期目標3,265kgと比較し、5%減)	九州市民サービス課
	4-3	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 5月末に指定日 丸子地域は自治会ごとに実施 ボイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 2,710人 (前年度比30%増)	○	参加人数 2,411人 (ゴミゼロ運動期間:4月1日～5月31日の参加人数) 前年比16%増	九州市民サービス課
	4-3	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・堀川・沢・穴ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(夏・秋の年2回、参加6団体)	◎	春の河川パトロール 5月21日(木)実施 参加 6団体 23名参加	九州市民サービス課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人をはぐくむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
	5-1	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ばっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児及び保護者が興味を示すこと	◎	・各保育園、幼稚園で「ばっくん」を活用して環境教育を行っている。	保育課
	5-1	新技術等開発助成事業	環境にやさしい人をはぐくむ	環境にやさしい新技術等を開発する事業者に対する支援	助成制度についての周知及び助成の実施	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(20件)	◎	①事業所訪問による周知(17件)	商工課
	5-1	地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ピン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の教等	◎	①リサイクル回収について、立会うことができないため、回収場所、文書等の掲示をして、違反の注意や啓発を行なった。 ②わがまち魅力アップ応援事業について、適切に受付を行なった。 ③9月提出の自治会要望について、取りまとめを行い、関係課と調整を行なった。 ④窓口で手に引っかき手続された方に、ゴミ回収についてのパンフレットを渡し説明を行なった。	川西地域自治センター
	5-1	各種講座・里山づくり支援	環境教育の推進	環境に対する市民の意識を高揚する。	里山地帯の地域づくり講座 6回、花と庭づくり教室8回、自然に親しむ講習会1回	成人教育及び青少年教育において、環境に関する講座を開催し、環境への意識を高める。	◎		西部公民館
	5-1	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察講座 4回、野鳥観察講座 2回 風穴講座 4回、水生生物観察講座 1回 わいわい塾(工作教室 3回、自然体験、エネルギー) 工作教室 1回、暮らしイキイキ講座 4回	青少年、成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める。	◎	館内会議等で準備段階から情報を共有しあいほぼ予定どおり実施できた。	上野が丘公民館
	5-1	公民館各種講座事業	環境教育の推進	環境教育の推進を図り、市民の環境に対する意識の啓発を図る。	1 住民の環境啓発 2 講座実施 ①里山を中心としたふるさとづくり講座 ②川西花いっぱい倶楽部 ③川西こども広場 ④親子自然観察会 3 花壇の整備	成人・青少年教育に関する講座を通して、自然保全、自然とのふれあいを中心に環境に対する意識向上を図る。 ・成人教育 18回 ・青少年教育 3回 公民館花壇等の整備を通じて、自然とのふれあいと地域の環境保全に対する意識を向上する。	◎	1.住民環境啓発は実施済み 2.講座実施 ①里山を中心としたふるさとづくり講座 7回中7回済 ②川西花いっぱい倶楽部 8回中6回済 ③川西こども広場 実施予定 ④親子自然観察会 実施済み 3.花壇の整備 実施済み	川西公民館
	5-1	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		◎	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに、本の紹介、テーマ本の展示コーナーに環境関係のほんの展示し、市民に啓発を図った。	上田図書館
	5-1	文化芸術振興事業	文化芸術振興事業	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 チラシ・パンフレット等の印刷物に、古紙・大豆インク使用のマークを記載	◎	「上田城跡館」のチラシ、パンフレットに再生紙及び大豆インクを使用した。	文化振興課
	5-1	自然を守り、環境美化活動	自然を大切にし、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	◎	27年度上半期の状況(4月～9月) ①利用者数:56,045人 ②水道使用量:29,297㎡ ③灯油使用量:0ℓ	自然運動公園管理事務所
	5-1	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のエコエングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。	施設利用者数 (目標 90,000人以上)	◎	27年度上半期の状況(4月～9月) 利用者数:56,045人	自然運動公園管理事務所

